

ひょうご産官学連携協議会 中長期計画

(平成29年度～令和3年度)

[兵庫県の現状と課題]

- 兵庫の人口流出は2013年以降、全国でワースト2～5位。この4年間の転出超過は約2万6千人で、20代が目立つ。
- 18歳人口の減少と県外大学への流出が問題。既に募集停止大学が3校。
- 兵庫県の施策として2017年度「兵庫で働こうプロジェクト」開始。県と県内37大学が就職支援協定を締結。兵庫県および産業界と大学の更なる連携強化、若者の県内企業への就職の促進が課題。

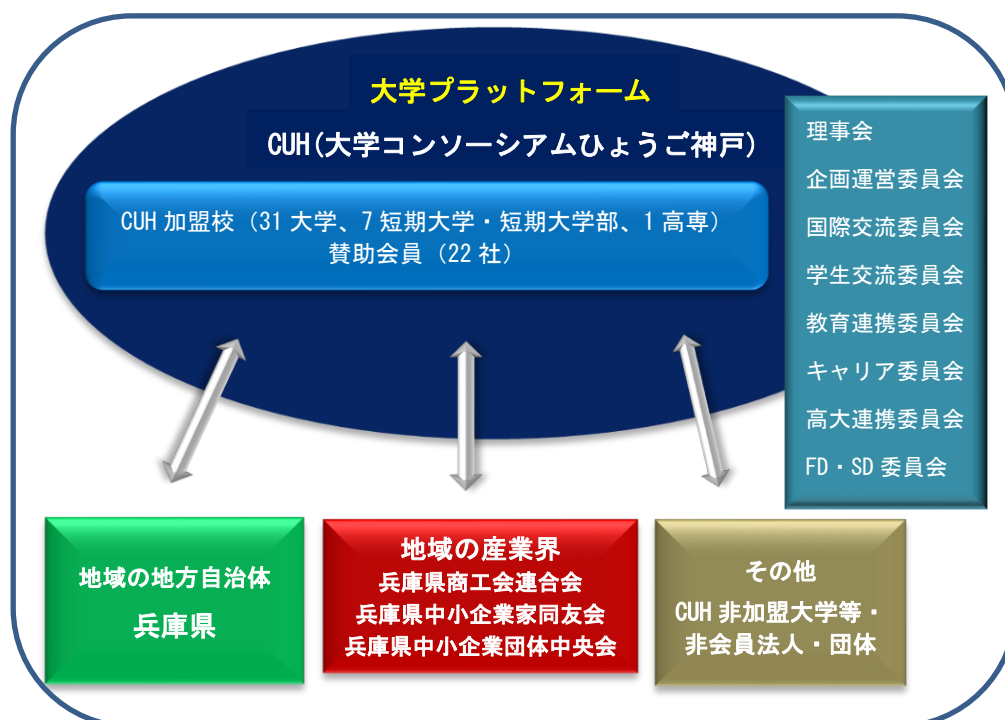
[ビジョン・目標]

次代を担う、個性あふれる「ふるさと兵庫」人材の育成

- 国際的視野をもち、地域産業を振興できるイノベーション人材
- ふるさとの魅力づくりを担う人材

兵庫県内大学が連携して、兵庫県、産業界とともに、「若者が育ち、活躍する県」であることのメッセージを県内外に発信するため、兵庫県内若者人口の増加（県内企業就職率33%の実現）、大学教育・地域創生の活性化への貢献が明確に可視化されるプラットフォーム活動を展開する。

[体制] プラットフォーム：ひょうご産官学連携協議会



加盟校数、賛助会員数は2021年5月1日現在のものです。

[具体的な取り組み内容]

上記の課題を踏まえ、目標を実現するために、以下の事業について、中長期的目標を設定し、具体的に取り組む。

1. 地域の活性化、県内の若者人口増加のための連携事業

① 地域の活性化のための県内企業就職率の向上

(目標) 県内企業就職率：33.0% (2021 年度)

(指標) 各取組への参加学生数：2017 年度実績をベースに毎年 5%増
参加学生数:683 名、教職員数:87 名 (2021 年度)

(内容) 兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者で、約 2 万人いる県内大学卒業者のうちの『県内企業就職率』は、3 割弱に過ぎず、7 割以上が県外に本社のある企業に就職している。この県内企業就職率を引き上げ、若者の県内定着を促進することで、地域の活性化を実現する。

○大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組

- ・合同企業説明会
- ・企業とキャリアセンターとの意見交換会
- ・魅力ある県内中小企業訪問

○大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組

- ・合同企業説明会
- ・企業と学生との意見交換会

(担当) キャリア委員会

② 地域の活性化のための UJI ターン就職の促進

(目標・指標) 情報公開する企業数：100 社 (2021 年度)
新たに情報公開する企業数：15 社 (2021 年度)

(内容) 県内企業の情報発信の強化

ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て県内企業情報を収集し、大学プラットフォーム (大学コンソーシアムひょうご神戸) HPにおいて公表し、兵庫県の UJI ターンの職業紹介等の HP との連携を図る。

(担当) キャリア委員会

③ 大学進学者の県内残留と円滑な高大接続

(目標) 県内大学等の情報提供を受けた学生数：200 名 (2021 年度までののべ数)

(指標) ひょうご高校大学コンソーシアム意見交換会の年 1 回以上の開催
合同説明会の開催等：1 回 (2021 年度)

(内容) 高大連携事業 (ひょうご高校大学コンソーシアム)

兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換会 (進路指導協議会) や県内各地での合同説明会等の開催や県内大学の情報提供などを通じて、県内大学進学率の向上を図る。

(担当) 高大連携委員会

④ 高等教育機会の偏在への対応

(目標) 開講科目数：10 講座 (2021 年度までののべ数)

(指標) ICT を活用したコンテンツ及び医療・看護系公開講座等の提供

(内容) 単位互換事業（共通講座の開講）

県内の大学に通う学生に、幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、以下の取り組みを行う。

(1) 兵庫県の地域特性や各大学の特徴を活かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業の実施。

(2) 多様な学修機会の提供（ICT を活用したコンテンツ、医療・看護系学生向けプログラム等）

(担当) 教育連携委員会

2. 地域課題と向き合う交流を通じた社会人基礎力の養成事業

⑤地域の防災等を担う人材の育成

(目標) 「ひょうご災害・防災リーダー」認定学生数：
50名（2021年度までののべ数）

(指標) プログラム参加学生数：250名（2021年度までののべ数）

(内容) 地域の防災等を担う人材養成プログラムの実施。

プラットフォーム参画大学の学生と県内外の各団体が連携し、阪神・淡路大震災の経験、教訓を学ぶ場の提供や東日本大震災や岡山豪雨災害等での実際の支援活動に取り組み、被災地の復興支援の体験やそこから派生する防災への取り組みを学び、自主的且つ自発的に活動に取り組める学生を育成するとともに災害・防災リーダーを養成する。

・阪神・淡路大震災について学ぶ場や県内でのボランティア研修により、実質的なボランティアを企画・実施。

・宮城県名取市、岡山県倉敷市等でのボランティア活動の継続により、時間経過に伴うニーズの変化や復興の過程を学ぶ。

・震災直後やその後の復興の過程を学ぶとともに、今後の防災・減災に向けて何ができるのかを考え、実践に移せる「ひょうご災害・防災リーダー」を養成。

(担当) 学生交流委員会

⑥地域で活躍できる人材の育成

(目標) リーダー(企画・運営を担える人材)の育成：50名/年

(指標) 参加団体数：15団体/年、参加者(親子)数：500名(2021年度)

(内容) 地域(子どもやその保護者等)との交流を図るイベントを企画・運営し、異世代交流の体験を通じた幅広いコミュニケーション力、前に踏み出す力(アクション)、考え抜く力(シンキング)、チームで働く力(チームワーク)を、実践によって身につけさせ、地域で活躍できる人材を育成する。

参加学生には地域の子どもの状況やその背景についても学ぶ機会を提供することにより地域における子どもの現状(少子化等)と課題を踏まえた取り組みに繋げる。

(担当) 学生交流委員会

⑦地域産業ニーズに対応した人材育成

(目標) 地域産業ニーズをまとめた資料をHPで閲覧、もしくは資料配布を受けた学生数：10,000名（2021年度までののべ数）

(指標) 産業界と大学キャリア担当者の情報交換会開催：4回(2021年度)、
10回(2021年度までののべ数)
地域産業ニーズをまとめた資料作成・配布 3,000名(2021年度)

(内容) 地域産業のニーズ調査
ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て県内企業が求める人材、大学において習得すべき知識・技能についての情報を収集し、大学プラットフォーム(大学コンソーシアムひょうご神戸)HPにおいて公表するとともに、大学、企業との情報共有の場を設ける。

(担当) キャリア委員会

⑧地域企業経営者による実践的講座の提供

(目標) プログラム参加学生数：300名(2021年度までののべ数)

(指標) 地域の企業経営者によるセミナーの開催：2回(2021年度)

(内容) 地域企業経営者が講師を務める講座の開講
ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て、企業経営者を講師として講座を開講する。経営者の理念や思いをお聞きし、実社会を学ぶ。ICTを活用した教育の推進も検討する。

(担当) キャリア委員会

3. “ひょうご神戸”の国際性を活かしたグローバル教育支援事業

⑨“ひょうご神戸”の国際性を活かしたグローバル人材育成

(目標) 本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上(期間中に2回測定)

(内容) 「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟するコンソーシアムとして、グローバル人材育成を目指した事業を展開する。

○留学生支援プログラム(ひょうご留学生インターンシップ)
個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業・団体等を決定する。
(指標)：参加者数：10大学・35名以上(最大40名)
受入企業・団体等数：20企業・団体(2021年度)

○プラットフォームを活用した留学生就職促進事業
大学、行政、企業が連携し、新たなネットワークを構築することでの受入環境づくりの促進と、卒業後の県内企業への就職の促進の動機付けを図る。
(指標) 参加留学生：100名以上(2021年度)

○兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業
大学連携による国際交流の拠点を、大学キャンパス外の地域社会に形成することで留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。
(指標) 参加者数500名以上(2021年度)

○学生海外派遣プログラム
日本は、衛生面・医療面で世界的に恵まれているが、国外において自らが体験することで医療に対する国際感覚を高める。習慣・文化・社会が日本と大

大きく異なる国への訪問を通して自国の状況を客観的に判断可能になり、海外から学ぶべきこと、また、海外で貢献できる点を理解し、問題解決能力を養う。

(指標) 参加者数：2名 (主催大学以外の学生数) (2021年度)

(担当) 国際交流委員会・キャリア委員会

4. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的研修事業

⑩ “ひょうご神戸”の特性を活かした教育力の向上

(目標) 各取組への参加教職員数：300名 (2021年度までののべ数)

(内容) プラットフォーム参画大学の教職員に多様な研修等の機会を提供するとともに加盟校教職員間のさらなる交流を促進する。

○加盟校教職員を対象とした大学教育に関する講演会を行い、100%加盟校教職員の資質向上を図るとともに、教職員間の交流を促進する。

(指標) 加盟校に有益な公開セミナー開催数:1回 (2021年度)

○「大学運営」に関する科目の受講支援

プラットフォーム参画大学が開講する「大学運営」に関する科目のプラットフォーム参画大学職員の受講を支援する。

(指標) 「大学運営」科目の継続開講

(担当) FD・SD委員会

上記の中長期計画を実施する担当については、年度ごとの見直しにより変更することがある。

以上